

ミライの山につながるように

山ではたらきやすいように、
機械も進化を続けています。

高性能林業機械どうしが組み合わせることで、林業の現場はこれまでより安全に、また効率よくなっています。林業の基本的な作業の流れは、大きな木を山から伐りだすために、木を伐り倒し（伐倒）、倒した木を作業道まで寄せ集め（集材）、枝を取りのぞき、一定の長さに切り丸太にして（造材）、それをトラックなどが入る広い場所へ運び出す（小運搬）というものです。

それでは、どんな場所でどんな機械が活躍するのかを見てみましょう。

それぞれの機械の役割もご紹介します。

基本的な作業の流れ 伐倒 → 集材 → 造材 → 小運搬

タワーヤード

急な傾斜地での作業が最大の得意！

人工支柱の装備により、ケーブルを張ったり、片づけたりする作業が簡単。スイングヤードよりも広い範囲の木を集め、運べるのが特徴です。狭い区画の木をすべて伐るときにも威力を発揮します。

集材

プロセッサ

伐り倒された木を一定の長さに切断！

長さを測る機能や、余計な枝葉をそぎ落とす機能付き。
木を切断して丸太にする仕事を主とした、高知県内で一番普及している高性能林業機械です。

造材

ハーベスタ

伐採作業のほとんどをこなす万能選手！

プロセッサとしても使えますが、角度を細かく調節できるヘッドにより、立っている木をつかんだまま伐り倒すことができます。

伐倒 造材

スイングヤード

アームがタワーに早変わり！

タワーヤードに比べて作業までの準備がはやく、次の現場へほとんど行けるのが特徴です。機体の旋回（スイング）も自由自在。林の中の木をワイヤーロープで作業道まで引っ張り出します。

集材

フォワーダ

木を運搬する仕事はお手のもの！

たくさん丸太を積める荷台と伸び縮み可能なクレーン部分が特長。舗装されていない道もスイスイ進めるので、変化の激しい作業道で大活躍します。

小運搬

高性能林業機械たちは、
今日もどこかの山々で活躍中です。

ウインチ付きグラップル

フォーク型の爪でガシッ！

木をつかんで移動させることができます。
プロセッサで決まった長さに切った木をフォワーダに積み込んだり、作業スペース内で整理したりします。少しはなれた場所の木も、ウインチに巻いたワイヤーロープで引っ張ってこられます。

集材

フェラーバンチャ (バケットタイプ)

鋭いハサミで素早く切断！

伐った木を寄せ集めるグラップル機能付き。
立っている木をつかんで伐り倒し、そのまま引き出し、集材に便利な場所に並べます。バケットタイプは土を掘ることもできます。

伐倒 造材 集材



「34歳男性vs林業機械」
30秒1本勝負！



YouTube

おだちと機械が対決する様子を
You Tube動画で配信中だぜ。
みんな、見てくれよ！

